

1. 事業の位置付け

事務事業名	まちづくり条例策定事業		
事業担当	まちづくり政策部 まちづくり政策課		
予算科目	01-080401-030000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等	都市計画法、建築基準法		
対象・受益者	市民、事業者	事業期間	平成17年度～
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
本市のまちづくりに市民自らが主体となって参加し、市民、事業者及び市が相互の責任と信頼のもと協働してまちづくりが進められています。		良好なまちづくりを推進するため、市民と協働で進めるまちづくりの仕組みや開発事業に伴う手続きと基準などを総合的に定めるまちづくり条例を制定します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パブリックコメント実施回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	-	-			
活動指標②	指標名	まちづくり条例の運用						単位	回
	説明・算定式	市民主体のまちづくり活動に対する専門家の派遣等支援回数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			-	3	5			
成果指標①	指標名	まちづくり条例策定進捗率						単位	%
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			100	-	-			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果 平塚市まちづくり条例を制定した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	条例施行後、市は市民の主体的なまちづくりに支援するとともに、事業者に対し、指導または助言を行う必要がある。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民の主体的なまちづくりの推進する上で、情報の提供、専門家の派遣など継続的な支援を行うことが有効である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民主体のまちづくりに関する業務と開発事業に関する業務を分担し、事業の目的を推進することが妥当である。	○ 高 ● 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市が効率的な条例の運用を図る。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

条例の効率的な運用を図るため、市民のまちづくり活動に対する支援及び開発事業の手続や基準を周知する必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				まちづくり条例の 策定	条例の運用	条例の運用		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	431	882	2,409	0	0
事業費 (A)		0	0	431	882	2,409	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	27.26				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.65	0.65	0.65	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	5,455	5,455	5,455	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	5,886	6,337	7,864	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 市民主体のまちづくりを積極的に推進するため、条例の効果的な運用が重要であり、活動団体への支援など継続して行う。	
平成21年度 of 取組方針	
現状の規模で、まちづくり条例の適正な運用を図る。	
課長コメント	地域の特性に応じたきめ細かなまちづくりが求められており、そのためには市民との協働によるまちづくりを積極的に推進していく必要があります。条例の効果的な運用が重要であると考えます。